

令和4年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	3. 民生費	大事業	9. ひきこもり対策推進事業
項	1. 社会福祉費	中事業	
目	6. 障害者自立支援福祉費	担当所属	障害福祉課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額		5年間計画額		
臨時	補助	計画	0	0	34	実施計画	第1章	ともに支え合い誰もがいきいきと暮らせるまち（福祉・健康・子育て）	642
							基本施策4	障害者福祉	0
									214
									214
							施策2	障害福祉サービスを充実します	214
								0	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	106	
本年度当初査定額	106	214

財源内訳	国庫支出金						一般財源
本年度当初要求額	106						△106
本年度当初査定額	106						108

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 地域に潜在するひきこもりを早期に発見し、ひきこもりを抱える家族や本人に対するきめ細やかな支援が可能となるよう、電話相談、メール相談、継続的な訪問支援を行います。</p>	<p>(事業の目的) ひきこもり対策を推進するための体制を整備し、本人や家族等を支援することにより、自立を推進し、本人及び家族等の福祉の増進を図ります。</p>	<p>(事業の効果) ひきこもり本人の自立を推進し、本人及び家族等の福祉の増進が図られます。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 制度利用には、ひきこもり本人が支援に対し承諾されるケースに限っているため、制度利用に繋がりにくい実情があります。また、コロナ禍においては「ひきこもり訪問サポーター」の訪問面接をリスクと捉える方が一定数いると思われることも利用が進まなかった原因の一つであると考えます。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 同事業の実績は低迷しているため、前年度予算ベース新規訪問2件減で積算しました。今後、関係機関の連携強化・中継支援の仕組みづくりを進めるとともに、より利用しやすい制度への変更も視野に進めていきます。</p>	<p>(見積についての特記事項) 8050問題は年々高まりをみせており、更なるひきこもり支援の強化が必要と考えています。今後は、汎用性のある他事業との連携強化を進め、ひきこもりの状況により、適切な関係機関が関わり、状況により次のひきこもり機関へつなげるなど、効率的な支援体制を整えていきます。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
12	214	255	△41

款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額	
特定財源	16	02	02	03	01	00	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金	106	106	127	△21
	差引一般財源							△106	108	△127	235